

令和6年度 自己評価

社会福祉法人愛育会 認定こども園愛育保育園

保育上保育指針において、保育教諭及び認定こども園の自己評価並びにその公表が努力義務とされています。

このことに基づき、認定こども園愛育保育園では毎年自己評価を実施しております。評価の結果を踏まえ、今後もより良い保育を提供できるよう努力していきます。

〈評価について〉

評価をするにあたっては、以下のような基準で評価を行っています。

A: できている

B: ほぼできている

C: 努力が必要

1. 保育理念・保育観

	評価項目	評価
1	保育士一人ひとりが、保育理念に基づき、日々の保育に取り組んでいます。	B
2	保育士一人ひとりが自己評価を行い、その問題解決のために向上心を持って取り組んでいます。	B
3	すべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重しています。	A
4	児童福祉法の理念に基づいて子どもの生活と健全な発達を保證することが、保育園の重要な指名であると理解しています。	A
5	入園している子どもの保育だけでなく、広く地域の子育てを支援する社会的役割があることを意識し、目指しています。	B
6	一人ひとりのありのままの姿を受け止め、健やかに成長することを願って保育をしています。	A
7	園の保育が、子どもの生活の基礎を培う極めて大きな役割を担っていると認識しています。	A
8	保育者と連携を密にとり、その意向を受け止め、保育士等の専門性を生かしてその援助にあたっています。	A

2. 保育計画・指導計画

	評価項目	評価
1	保育指針のねらい及び内容が、達成できるような保育課程や保育計画になっています。	A
2	保育計画に基づき、子ども一人ひとりの発達の姿や興味の対象の実態を把握して、年・週・日案などを作成しています。	A
3	子どもの意欲を誘い、発達に必要な経験が得られるような環境構成が十分工夫されています。	B
4	職員間で子ども一人ひとりの発達過程や、状況を十分に理解したうえで保育しています。	B
5	年・週・日案などが実際の子どもの姿・興味関心に合っていたか、という点から自分の保育を評価・反省をしています。	B
6	食について保育士と給食従事者が意見交換の場を持ち、連携して食育活動をしています。	A
7	献立に旬の食材を取り入れ、ほぼ100%を手作りしています。	B

3. 保育園の職員構成・役割分担・研修

	評価項目	評価
1	園長や主任の園務分掌がはっきりとしていて、それぞれの仕事を責任もって行っています。	B
2	豊かな集団の育成を目指したクラス経営が進められ、各クラスの連携が円滑に行われています。	B
3	危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が整えられています。	B
4	園内外の研修は、計画的に実施されています。	B
5	保育に関わる様々な知識や技術の向上に努め、悩みや疑問を解決するため、研修に参加したり専門書を読むなどして自己研鑽しています。	B

4. 事務管理・運用

	評価項目	評価
1	子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理しています。	A
2	職員に、園内で知りえた事柄に対しての守秘義務を周知徹底しています。	A
3	帳簿類は、適切に記載し、整理保管しています。	A
4	施設設備・遊具等の安全点検をしています。	A
5	園運営が円滑に行われるように適切に予算を執行しています。	A

5. 開かれた保育園

	評価項目	評価
1	小学校と連携し、交流する機会を持っています。	C
2	子どもの心身の発達や育児不安について、気軽に相談できるように育児支援（リフレッシュ時保育等）を行っています。	A
3	園生活の子どもの様子を、保護者や地域社会に積極的に伝えています。	B